



## 2019年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月4日

上場会社名 マックスバリュ東海株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8198 URL <http://www.mv-tokai.com/company/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神尾 啓治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 高橋 誠 TEL 055-989-5050  
 四半期報告書提出予定日 2018年7月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年2月期第1四半期の連結業績（2018年3月1日～2018年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第1四半期	55,626	△0.9	917	△11.0	900	△12.7	527	△23.9
2018年2月期第1四半期	56,115	1.1	1,031	4.0	1,031	6.1	693	36.9

(注) 包括利益 2019年2月期第1四半期 486百万円 (△25.0%) 2018年2月期第1四半期 648百万円 (50.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第1四半期	29.63	29.59
2018年2月期第1四半期	38.95	38.92

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年2月期第1四半期	73,918	47,880	64.6	2,678.55
2018年2月期	72,374	48,204	66.4	2,696.12

(参考) 自己資本 2019年2月期第1四半期 47,731百万円 2018年2月期 48,044百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2019年2月期	—	—	—	—	—
2019年2月期（予想）	—	0.00	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年2月期の連結業績予想（2018年3月1日～2019年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	114,000	1.1	2,280	1.4	2,270	0.4	1,420	1.6	79.69
通期	229,000	1.5	5,400	2.8	5,300	1.0	3,250	1.2	182.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期1Q	17,883,300株	2018年2月期	17,883,300株
② 期末自己株式数	2019年2月期1Q	63,528株	2018年2月期	63,528株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期1Q	17,819,772株	2018年2月期1Q	17,816,162株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策などを背景に、雇用環境の回復や個人消費の持ち直しが見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済においては保護主義の高まりによる貿易摩擦の懸念や政治動向の不確実性など、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品スーパーマーケット業界におきましても、お客さまの価値観や志向の多様化、少子高齢化の進展や生産年齢人口の急速な減少など、経営環境に大きな変化がみられるほか、採用環境の悪化に伴う労働コストの上昇や業種業態を超えた競争の激化などが続いており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループは、本年度のスローガンに、「地域密着経営の実践 お客さまのために 自ら考え、自らやり遂げよう!」を掲げ、地域社会から必要とされる一つひとつの店舗の創造に向け、地域密着経営の更なる推進とともに、お客さまの健康でより豊かな食生活を実現するための商品・サービスの提供などの経営課題に積極的に取り組んでまいりました。

## (国内事業)

国内事業におきましては、天候不順による農産物相場の不安定さや、水産・畜産物の仕入価格上昇などに加え、業種業態を超えた競争の激化などの影響もあり、営業収益が前年同期比1.3%減となるなど厳しい展開となりました。そのような中、当社はお客さまの多様化するニーズにきめ細かく対応すべく、地元商品の品揃え拡大や、当社の管理栄養士監修による惣菜の販売強化に取り組むなど、健康で豊かな食の提案に取り組んでまいりました。

また、当社では4月より一般企業を対象とした専用の宅配ロッカーの試験運用を開始いたしました。これは、当社ネットスーパーのシステムを活用し、一般企業の従業員の方がご注文いただいた商品を、当該企業の事業所内に設置したネットスーパー受取ロッカーに商品をお届けすることで、従業員の方の買物時間の節約や家事負担の軽減、余暇時間の有効活用に貢献するという試みであり、本稼働に向けた準備を進めております。

店舗展開におきましては、3月にマックスバリュエクスプレス静岡大岩店（静岡市葵区）、4月にマックスバリュエクスプレス清水駅前店（静岡市清水区）の開設を行いました。マックスバリュエクスプレス清水駅前店は、駅前という立地を活かし、多様なお客さまのニーズを取り入れた売場構成を図るとともに、地元産業の魅力を伝えるべく、缶詰商品約100種類を集合させた「缶詰王国」コーナーの展開や当社最大の座席数を備えたイートインコーナーの設置など、便利で地域に密着した店舗を目指しております。その他、地域特性に応じた商品構成の導入やイートインコーナーの拡充などを行う店舗活性化改装を4店舗で実施したほか、老朽化したマックスバリュ御殿場東田中店をスクラップアンドビルドのため閉鎖しております。これらの結果、国内事業における店舗数は、149店舗（うち、ザ・ビッグ34店舗、小型業態マックスバリュエクスプレス13店舗）となりました。

## (中国事業)

イオンマックスバリュ（広州）商業有限公司は、1月にマックスバリュ聖地新天地店（広州市荔湾区）を開設し、4月には9号店となるマックスバリュ恒宝広場店（広州市荔湾区）を開設いたしました。

営業面では、広州エリアと佛山エリアを区分し、企画商品、訴求商品、定番商品を、地域特性に即した品揃えと価格帯に設定することで、より地域に密着した経営を推進するとともに、荒利益率の改善にも取り組みました。

中国におけるモバイル決済（「Alipay」「WeChat Pay」等）は拡大を続けており、当社においてもレジでのモバイル決済率は7割を超えております。販促手段としてもデジタル化が急速に広がる中、同社は約40万人のカード会員を軸として、会員価格、カテゴリ割引等のモバイル販促への転換を進めております。

また、店舗在庫の削減による鮮度の向上や人員配置の効率化、後方業務の見直しなど、利益構造の改善につながる経費の有効活用にも積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益556億26百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益9億17百万円（同11.0%減）、経常利益9億円（同12.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5億27百万円（同23.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比し、15億43百万円増加し、739億18百万円になりました。これは関係会社預け金の増加16億20百万円などによるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比し、18億68百万円増加し、260億38百万円になりました。これは買掛金の増加12億87百万円、賞与引当金の増加4億33百万円、未払法人税等の減少5億65百万円などによるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比し、3億24百万円減少し、478億80百万円になりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億27百万円、剰余金の配当による減少8億37百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2018年4月11日に公表しました業績予想を修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,960	5,689
売掛金	52	58
商品	6,219	6,235
繰延税金資産	523	620
関係会社預け金	9,989	11,609
その他	4,691	4,889
流動資産合計	27,436	29,103
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	16,437	16,424
土地	15,012	15,012
その他(純額)	5,518	5,473
有形固定資産合計	36,968	36,910
無形固定資産		
のれん	344	311
その他	248	233
無形固定資産合計	593	545
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,974	1,966
差入保証金	4,569	4,579
その他	836	815
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	7,376	7,359
固定資産合計	44,938	44,815
資産合計	72,374	73,918
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,696	14,983
未払法人税等	1,142	576
賞与引当金	540	974
役員業績報酬引当金	43	—
店舗閉鎖損失引当金	7	2
ポイント引当金	31	32
資産除去債務	9	2
その他	5,377	6,147
流動負債合計	20,848	22,719
固定負債		
商品券回収損失引当金	3	3
退職給付に係る負債	94	80
資産除去債務	1,541	1,558
その他	1,681	1,676
固定負債合計	3,321	3,318
負債合計	24,170	26,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,267	2,267
資本剰余金	3,184	3,184
利益剰余金	42,709	42,400
自己株式	△76	△76
株主資本合計	48,086	47,776
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	97	89
退職給付に係る調整累計額	△139	△135
その他の包括利益累計額合計	△41	△45
新株予約権	29	56
非支配株主持分	131	93
純資産合計	48,204	47,880
負債純資産合計	72,374	73,918

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
営業収益		
売上高	55,135	54,637
その他の営業収入	980	989
営業収益合計	56,115	55,626
売上原価	41,837	41,452
売上総利益	13,297	13,185
営業総利益	14,278	14,174
販売費及び一般管理費	13,246	13,256
営業利益	1,031	917
営業外収益		
受取利息	8	9
為替差益	—	0
雑収入	21	9
営業外収益合計	30	19
営業外費用		
支払利息	21	35
為替差損	5	—
雑損失	2	1
営業外費用合計	29	36
経常利益	1,031	900
特別損失		
固定資産除却損	2	2
減損損失	—	0
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	0
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	1,028	896
法人税、住民税及び事業税	439	495
法人税等調整額	△57	△90
法人税等合計	382	404
四半期純利益	646	492
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	△35
親会社株主に帰属する四半期純利益	693	527

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)
四半期純利益	646	492
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	△9
退職給付に係る調整額	1	3
その他の包括利益合計	1	△6
四半期包括利益	648	486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	696	524
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	△38



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。